

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	農林部農地林務課		■担当係	農地林務係
■評価事業名称	国土緑化運動の推進事務			
■評価事業コード	050200 - 119	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	03 魅力ある農林業の振興		
	■施策	06 森林資源の保全と多様な価値の活用		
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の概要	緑化事業の推進を図る。国土緑化事業推進の事務を行う。岩手県緑化推進委員会北上支部として、緑の募金活動の取りまとめ、緑化木配布、緑の少年団への補助金交付事務を行う。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	国土緑化運動の推進事務	市民		<ul style="list-style-type: none"> ・春の緑化まつり 450人参加 ・夏のわんぱく自然教室 77人参加 ・秋の緑化まつり 300人参加 ・冬のわんぱく自然教室 33人参加 ・地域緑化木配布 1地域 ・事業所緑化木配布 1事業所 ・緑の少年団育成費補助金 5団体 ・緑の募金活動 家庭、企業、職場、街頭等(北上支部実績) 3,111,961円 ・緑化推進委員会支部総会 1回

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	1	32	5	93	
人件費	165	2,889	677	9,441	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	166	2,921	682	9,534	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	イベント回数	3回	4回	4回	4回	春・秋の緑化まつり、夏・冬のわんぱく教室。
02	緑の募金額	2,450,738円	2,445,114円	1,843,951円	3,111,961円	緑の募金春季・秋季合計実績額

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

03	イベント参加人数	1,427人	1,537人	746人	860人	
04	イベント1回当りコスト	55千円	730千円	170千円	2,383千円	
05	募金千円当りコスト	68円	1.2千円	0.4千円	3.1千円	
06	イベント参加1人当りコスト	116円	1.9千円	0.9千円	11.1千円	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

緑化に係る各種イベント、募金活動等を実施し、国土緑化に努めた。

問題点・課題等

各種イベントの参加者増加に向けた取り組みの検討。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明